

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 5月23日 更新

事務事業名		各種道路協会参画事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	事業部	課長名	水野孝春
	施策	5	道路ネットワークの充実			所属課	建設課	担当者名	二瀬義継
	基本事業	13	計画的な道路の整備			所属班	管理計画班	(内線)	2252
予算科目		会計一般	款8	項1	目1	事業連番10063	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度		☐ 25年度で終了 ☐ 25年度から開始				事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) ☐ 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	県内道路の整備促進と道路財源の確保、道路予算の拡大を目的に期成会を設立し、国県へ要望活動を実施している。県内道路の整備促進と道路財源の確保、道路予算の拡大を目的として、昭和58年11月から設立された。(10063) 熊本県市町村道整備促進期成同盟会参画事業、(10064) 熊本県道路利用者協会参画事業、(10071) 日本道路協会参画事業、九州道路協会参画事業を各種道路協会参画事業として統合。※(10063) 熊本県市町村道整備促進期成同盟会参画事業は平成25年度末に廃止
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	総会への参加、自治体議会への道路財源堅持の要望活動等。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO) ・総会に出席しました。・道路財源確保の研修会に出席しました。		26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 総会、研修会への出席
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 総会への出席	回	県市町村道整備促進期成同盟会の廃止による減額
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
県内道路		→ ア 国への要望回数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
財源確保と整備要望		→ ア 国への要望回数
* ③ 成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
厳しい財政状況の中で、市民より道路の整備要望が多くあっている。その為には、財源の確保及び国の管轄である道路について早期着手に向け要望を行っていく。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	23年度 実績(決算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	見込	見込
① 活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1		
	イ									
② 対象指標	ア	回	2	2	2	2	2	2		
	イ									
③ 成果指標	ア	回	2	2	2	2	2	2		
	イ									
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		34	136	107	121	136	
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	0	34	136	107	121	136	
		(A) のうち指定経費	千円	0	34	136	107	121	121	
		(A) のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	
		(A) のうち臨時職員	千円	0	0	0	0	0	0	
人件 費	正 規 職 員	正職員従事人数	人	2	0	2	4	2	2	
		延べ業務時間	時間	40	0	40	60	40	40	
	(B) 人件費計	(B) 人件費計	千円	161	0	162	239	162	162	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	161	34	298	346	283	298	

事務事業名	各種道路協会参画事業	所属部	事業部	所属課	建設課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は25年度的事後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 経済対策で国からの交付金の配分があり、道路整備予算が確保されてつつある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 県内道路の整備は、各市町村とも産業・経済の活性化、観光開発、生活環境の向上につながるものであり要求は高いものである。しかし、財政的に厳しい時期である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似団体がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 期成会の会員負担割合があるので適当である。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 総会への参加及び負担金の支出であり、正職員以外の対応は不可。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 道路整備の要望及びその為の財源確保を行うことであり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 会員が市長村であるため移行はできない。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

総会に出席し、要望を強く行うことができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"> </td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								